

---

地域新エネルギービジョン策定等事業

# 白馬村地域新エネルギービジョン

---



平成19年2月

長野県白馬村

## 巻頭あいさつ



人類が築いた高度で文化的な生活は、地球上の貴重な資源によって支えられています。

20世紀後半における大量生産・大量消費という社会経済活動は、経済の発展と生活レベルの向上に大きく寄与してきましたが、その結果として、長年にわたって地球の資源を使い続けてきたことから、地球規模でエネルギー資源について真剣に考えなければならぬ時代を迎えることとなりました。

これは、私たちが依存してきた石油や石炭などの化石燃料の枯渇問題と、森林資源の減少や化石燃料の消費によって排出する二酸化炭素によって地球温暖化が加速され、地球環境保全に深刻な影響を与えていることであり、人類がこれからも持続的な発展を続けていくためには、これらの問題を解決しなければなりません。

この地球環境問題については、自分自身だけでなく家族の将来に係わる問題として受け止めなければなりません。その要因の多くが人間の様々な活動に起因しており、むしろ一人ひとりの日頃の心がけこそ重要であり、省エネ、リサイクル、アイドリングストップなど日常生活での小さな行動の積み重ねが大切になります。

白馬村第4次総合計画では、「資源の再利用」という小項目の中に「風力、水力発電、雪室などの環境にやさしい自然エネルギーの利活用に向けた研究を進めます。」と具体的な施策を定めており、このようなことから、省エネルギーの推進とあわせて環境にやさしい「資源循環型地域社会」の実現をめざして、このたび、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構のご支援をいただき、本村における新エネルギーの導入の基本指針となる「白馬村地域新エネルギービジョン」を策定いたしました。

新エネルギーとは、太陽や風力などの自然の力を利用するなど、今まで使われずにいた資源などを有効に使うエネルギーのことで、このビジョンの実現化に向けては、行政はもちろん村民・事業者の積極的な参画が必要となりますので、皆さま方のより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、新エネルギーに対するアンケート調査にご協力をいただきました白馬中学校・白馬高校の生徒の皆さん、本ビジョンの策定にあたり、積極的にご指導を賜りました信州大学工学部社会開発工学科教授浅野良晴委員長をはじめ、ご尽力いただきました策定委員ならびに関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成19年2月

白馬村長 太田 紘 熙

# 白馬村地域新エネルギービジョン

## 目 次

第1章 地域新エネルギービジョンの目的と背景	
1.1 地域新エネルギービジョン策定の背景について	1
1.2 地域新エネルギービジョン策定事業の役割と位置づけ	11
第2章 新エネルギーについて	
2.1 新エネルギー導入の意義	13
2.2 新エネルギーの概要	14
第3章 白馬村の地域特性	
3.1 自然特性	20
3.2 社会特性	24
第4章 白馬村のエネルギー需給特性	
4.1 エネルギー消費量	37
4.2 エネルギー消費量の全国との比較	48
4.3 エネルギー起源による二酸化炭素排出量	50
4.4 公共施設のエネルギー消費量	52
第5章 新エネルギーの潜在賦存量と期待可採量	
5.1 新エネルギー算定の前提条件	56
5.2 新エネルギー潜在賦存量・期待可採量算定結果	58
5.3 潜在賦存量と期待可採量のまとめ	74
5.4 導入可能な新エネルギー	75

第6章	新エネルギーに関するアンケート調査	
6.1	調査の概要	77
6.2	アンケート調査結果	78
第7章	新エネルギービジョンの方向性	
7.1	各項目の整理	90
7.2	ビジョンの位置づけ	96
7.3	新エネルギー導入の基本方針	97
第8章	新エネルギー導入プロジェクト	
8.1	導入プロジェクトの概要	98
8.2	導入プロジェクト詳細	99
8.3	導入プランと導入コストまとめ	130
第9章	新エネルギービジョンの推進に向けて	
9.1	推進体制の整備	131
9.2	推進における各主体の役割	132
9.3	推進スケジュール	135
9.4	新エネルギー導入のための施策	137
参考資料		
1	白馬村地域新エネルギービジョン策定委員会設置要綱	1
2	白馬村地域新エネルギービジョン策定委員会委員名簿	2
3	白馬村地域新エネルギービジョン策定委員会会議議事録	3
4	先進地調査報告	16
5	アンケート調査票	24
6	新エネルギー導入に係わる補助制度（NEDO）	29